ネイパル深川

英語を使ったコミュニケーションに挑戦し、学習意欲を高める

イングリッシュ キャンプ

1　事業のねらい

英語を用いたコミュニケーションに挑戦することで、英語への苦手意識を和らげ、英語でコミュニケーションを図ろうとする意識を高め、英語学習により歩み寄る機会とする。

2　事業の概要

■期日 R6.9.7(土)～9.8(日)
■対象 中学生・高校生
■人数 20 名（中学生 15 名、高校生 5 名）
■場所 ネイパル深川

3　プログラム

日時	7 8 9 10 11 12	13	14	15 16 17	18 19	20 21	22
9/7（土）	★受付時間 12:30～13:00 ★開 会 式 13:00～13:30	受付	開会式	テント設営 アイスづくり	夕食づくり （カレーづくり）	パーティー	自由入浴	就寝
9/8（日）	テント撤収 ビスケットづくり	朝食	メッセージ	閉会式	★解散時間12:00		

4　ねらいを達成するための活動の工夫

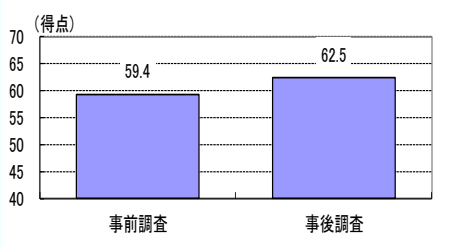
■ワークシートを中学生程度の単語や文法表現にすることで、苦手意識を和らげて、英語に入り込めるように工夫した。
■各グループに ALT を配置することで、英語表現をする際に気構えずに聞ける雰囲気をつくることができるように工夫した。
■英語によるメッセージづくりを導入することで、仲間とともに考えを整理し、共有し合える活動ができるように工夫した。

参加者の親睦を深めるパーティ

互いの思いを英語に込める
メッセージ活動

5　事業の評価

「心理的社会的能力」の変容（得点範囲：14～84点）



・IKR アンケートの事前・事後調査の結果、「生きる力」の「心理的社会的能力」の項目に向上が見られた。
・失敗を恐れず、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする意識の変容につながったと考察できる。その結果、ねらいとする英語に挑戦する意欲の高まりが見られた。

■参加者アンケートから
・片言の英語を使うだけでも、様々な人と話せることを知った。
・自分の能力では話せないと思っていたけど、実際は伝わっていて、前向きな考えに変わった。
・英語を使い挑戦してみようと思うことが増えた。
・海外や外国人と話すとき、緊張せずに話せればいい。

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●各班に ALT を配置することで、英語でコミュニケーションを図ろうとする機会を多く提供できた。
●活動の中で他国の紹介や歴史などを踏まえることで、　他国の理解が深まり、英語への関心が高まることができた。
○英語でのコミュニケーションをさらに高めるため、英語のみで話す時間の確保が必要であった。

企画のポイント

英語を話すことへ抵抗を感じることなく、入り込めるように、ミッション形式などグループで協力し合う活動を導入した。